

インベスコ世界ブロックチェーン株式ファンド インベスコ世界ブロックチェーン株式ファンド (予想分配金提示型)

愛称：世カエル 世界を変える技術 追加型投信／内外／株式／インデックス型

※当レポートでは、「インベスコ世界ブロックチェーン株式ファンド」を「世界ブロックチェーン株式ファンド」、
「インベスコ世界ブロックチェーン株式ファンド (予想分配金提示型)」を「予想分配金提示型コース」ということがあります。

四半期レポート

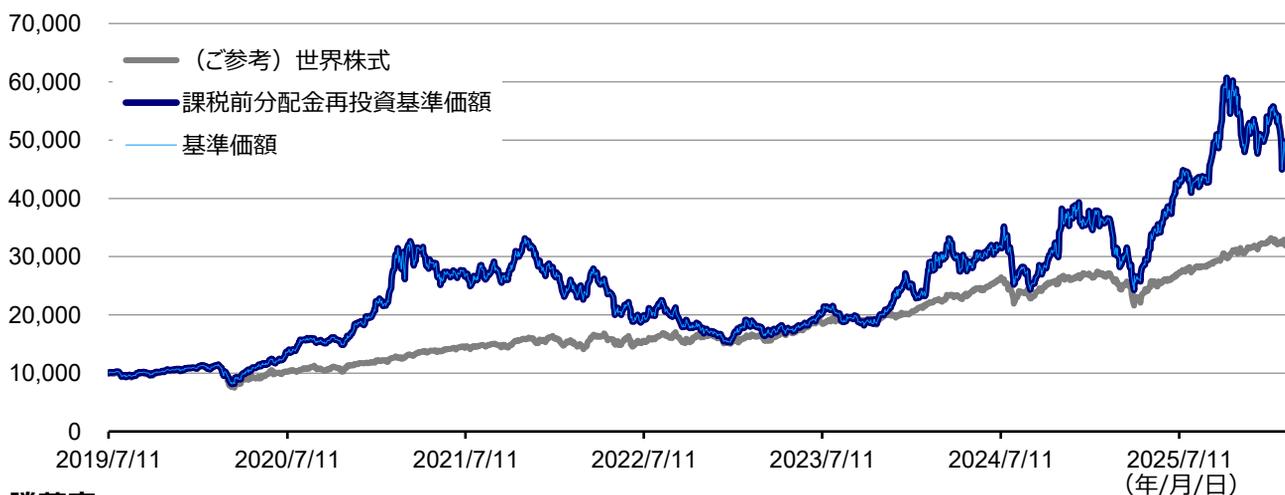
世カエルのポートフォリオについて

レポートの要旨

- 1 インデックスのリバランスによる世カエルのポートフォリオの状況
- 2 投資銘柄例
- 3 インデックスの主な新規組入銘柄
- 4 組入上位10銘柄

- 世カエルが連動する投資成果を目指す「コインシェアーズ・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス*」は四半期毎（1月末、4月末、7月末、10月末）に銘柄の見直し・入替（リバランス）を行います。
- 今回2026年1月末に実施されたインデックスのリバランス後の世カエルのポートフォリオの状況、投資銘柄例、インデックスの主な新規組入銘柄などについてお伝えします。
- まずは、設定来の基準価額の推移と騰落率をご覧ください。

世カエルと世界株式の設定来基準価額推移と騰落率 2019年7月11日～2026年2月27日（日次）



騰落率 2026年2月27日現在

	1カ月	6カ月	1年	3年	5年	設定来
世カエル	-6.1%	14.3%	63.8%	177.5%	65.8%	398.3%
(ご参考) 世界株式	1.9%	15.9%	27.8%	100.2%	161.2%	228.5%

* 世カエルが連動する投資成果を目指す「コインシェアーズ・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）」
出所：ブルームバーグ、インベスコ 【グラフ】世カエルの基準価額は、インベスコ世界ブロックチェーン株式ファンド（信託報酬控除後）のもので、世カエルの騰落率は、基準価額（課税前分配金再投資）を使用して算出しています。世界株式：MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース） 世界株式は、基準価額算出日の前営業日のデータを元に、当日の為替レートを使用し、委託会社が円換算し、ファンドの設定日の前営業日を10,000として指数化しています。MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）は当ファンドのベンチマークではありません。「予想分配金提示型コース」の設定来のパフォーマンスは7ページをご覧ください。上記は過去のデータであり、将来の運用成果を保証するものではありません。画像はイメージです。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）

インデックスのリバランスによる世カエルのポートフォリオの状況

「マイニング・ハードウェア」の銘柄に着目

- AI関連需要の高まりと半導体の供給制約を背景に、暗号資産マイニング企業にとって重要な供給業者（サプライヤー）であるサムスン電子（韓国）や台湾積体回路製造（台湾）などの「マイニング・ハードウェア」企業を、引き続き重要な投資テーマとして位置付けています。また、2025年にはステーブルコイン発行企業のサークル・インターネット・グループ（米国）が上場したほか、2026年以降もトークン化などの暗号資産ビジネスを主力事業とする企業の大型IPOが期待されており、ブロックチェーン関連企業の広がりとその投資機会に着目しています。

「トークン・インベストメント」の銘柄には引き続き慎重姿勢

- 暗号資産の価格変動に対する感応度が高い「トークン・インベストメント」企業においては、2025年11月から2026年1月のビットコイン価格の下落を受けて、多くの銘柄が保有する暗号資産が時価総額を下回る水準で取引されている点を懸念しています。総じて、相対的に暗号資産との相関が高く、ボラティリティの高い銘柄群については慎重姿勢を維持しています。

日本企業の状況について

- 金利上昇や日銀の政策正常化によるイールドカーブのステープ化は、日本の金融機関の収益拡大に追い風となり、デジタル資産インフラ整備への積極姿勢もポジティブに評価しています。個別企業では、暗号資産事業を強化するメルカリ（日本）を指数に採用し、国内デジタル資産市場の拡大の恩恵が期待できる企業として評価しています。日本企業全体としても、金利正常化を背景に資本還流が進み、中期的に株式市場を押し上げるとの見方が強まっていると考えています。

コインシェアーズ社*による8つの産業分類の構成比率の比較

（前回と今回のリバランス後のインデックスの構成比率）

- コインシェアーズ社は、ブロックチェーン・ビジネスを独自の8つの産業に分類して、成長性を調査しています。
- 前回と比較すると、暗号資産関連の割合に大きな変化はありませんが、上記のような着目点からポートフォリオが変化しています。

	産業分類	主な事業内容	2025年11月末	2026年2月末
暗号資産関連	トークン・インベストメント	暗号資産などへの投資	6%	6%
	マイニング・オペレーション	暗号資産のマイニング事業、ブロックチェーンエコシステムの構築	26%	23%
	マイニング・ハードウェア	暗号資産マイニング装置や装置部品となる半導体などを製造	13%	15%
	ブロックチェーン金融サービス	暗号資産取引所などの運営、ブロックチェーンを活用した金融サービスの提供	34%	33%
その他	ブロックチェーン技術ソリューション	ブロックチェーン技術を活用したエコシステムの開発、アプリケーションの提供	8%	8%
	ブロックチェーン決済システム	ブロックチェーンを活用した決済システムのサービスを提供	12%	14%
	エネルギー	暗号資産に関連するエネルギー資産のリース料など	2%	2%

※8つの産業分類のうち、マイニング・テクノロジー分野の銘柄の組入はありません。ブロックチェーン金融サービスには、暗号資産関連とその他の企業の両方が含まれます。

出所：コインシェアーズ社、インベスコ * コインシェアーズ・インターナショナル・リミテッド 当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行っています。上記のコメントは、マザーファンドのポートフォリオの状況を記載しています。【表】比率は、当ファンドが連動を目指す「コインシェアーズ・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス」のものであり、当ファンドのものではありません。産業分類は作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。上記は、2026年2月末現在におけるコインシェアーズ社の情報をもとにインベスコが作成したものであり、将来予告なく変更されることがあります。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド (予想分配金提示型)



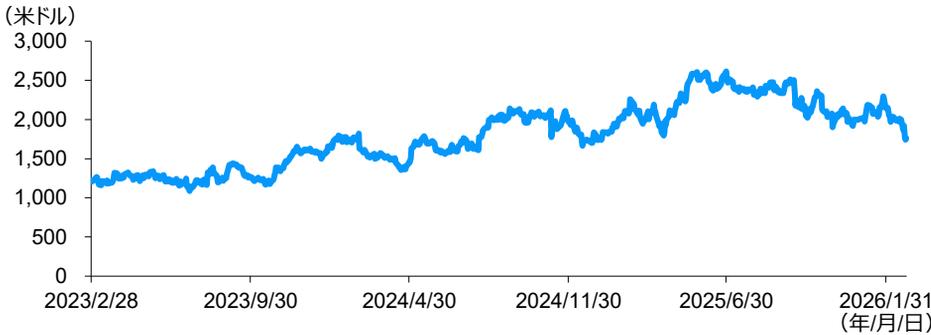
投資銘柄例

ラテンアメリカ最大級のEコマース・フィンテック企業

メルカドリブレ 産業分類：ブロックチェーン決済システム

- 中南米最大級のEコマース企業。ブラジル、メキシコ、アルゼンチンを中心に事業を展開し、6,000万人超の顧客層を抱える。
- 同社の収益の4割超を占めるフィンテック部門*のメルカド・パゴでは、顧客ロイヤルティの向上を目的に、独自の暗号資産を用いたキャッシュバックプログラムを展開。
- 米ドルに連動するステーブルコイン“メリ・ダラー”の取引サービスをブラジルの顧客向けに提供。

株価推移 期間：2023年2月末～2026年2月末（日次）



ブロックチェーンとの関連性

決済サービスやキャッシュバックプログラムに独自の暗号資産を活用し、新規顧客の開拓やEコマース事業の顧客の囲い込みで相乗効果を上げている。

国・地域 | 米国

業種 | 一般消費財・サービス

時価総額 | 約14兆円

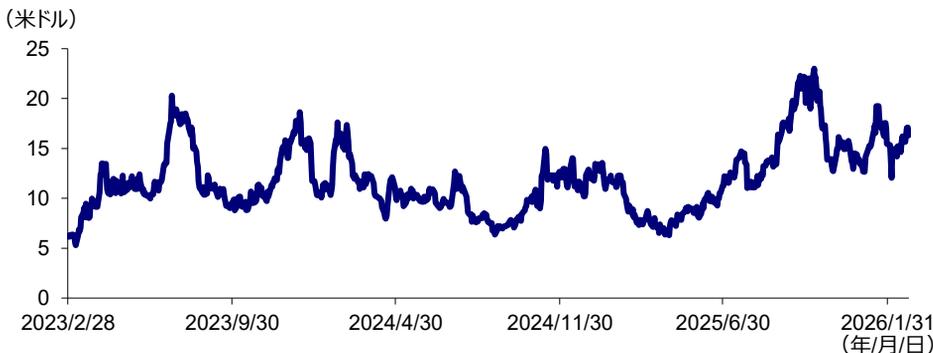


AIインフラ企業への多角化を図るビットコインマイニング企業

ライオット・プラットフォームズ 産業分類：マイニング・オペレーション

- 米国のビットコイン特化型マイニング企業。テキサス州で産業規模のデータセンターを運営し、AI、HPC（ハイ・パフォーマンス・コンピューティング：高性能コンピューティング）向けデータサーバーへの転用による事業の多角化を推進中。
- テキサス州の電力価格が高い時に市場に売却するなど、電力市場価格に連動した戦略を採ることで採掘コストの低減と収益補完を実現。

株価推移 期間：2023年2月末～2026年2月末（日次）



ブロックチェーンとの関連性

ビットコインマイニング事業とAI、HPCデータサーバー事業の両輪で企業価値の最大化を狙う。

国・地域 | 米国

業種 | 情報技術

時価総額 | 約1兆円



* 2025年第3四半期 出所：ブルームバーグ、インベスコ 時価総額は2026年2月末現在 産業分類は、コインシェアーズ社が独自に分類したブロックチェーンの8つの産業分類に基づいています。国・地域は、発行体の国籍（所在国）などで区分しています。業種は、GICS（世界産業分類基準）に準じています。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。上記は、2026年2月末現在におけるコインシェアーズ社の情報をもとにインベスコが作成したものであり、将来予告なく変更されることがあります。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。画像はイメージです。 3

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）

3 インデックスの主な新規組入銘柄（組入開始時期：2026年1月末）

ハイブ・デジタル・テクノロジーズ 産業分類：マイニング・オペレーション

企業概要

- カナダのビットコインマイニング企業。カナダ、スウェーデン、パラグアイでクリーンエネルギーを動力源とするビットコインマイニング施設とAI、HPC（ハイ・パフォーマンス・コンピューティング：高性能コンピューティング）向けデータセンターを運営。

着目ポイント

- 2025年12月末現在で、同社はバランスシート上に481ビットコインを保有しており、ビットコインのハッシュレート*1は23.3EH/sに達した。これにより、同社は2025年を通じてハッシュレートが大きく成長したマイニング企業の一つとなっている。
- 2024年7月末に、当ファンドが連動を目指すインデックス*2構成銘柄から同社を一度除外したものの、ハッシュレートの拡大、低コストなロケーションでの事業展開、そして投資妙味のあるバリュエーションで取引されていることを踏まえ、再度組み入れ。

*1 採掘速度ともいわれ、ビットコインなどの暗号資産をマイニングする際の計算力や採掘の速さを表したものです。

*2 コインシェアーズ・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス

国・地域 | カナダ

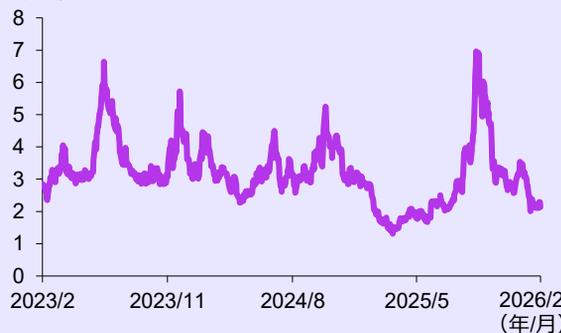
業種 | 情報技術

時価総額 | 約848億円

株価推移

期間：2023年2月末～2026年2月末（日次）

(米ドル)



サークル・インターネット・グループ 産業分類：ブロックチェーン金融サービス

企業概要

- 米国のブロックチェーン金融サービス企業。ステーブルコインの発行に加え、企業向けに決済・商取引・金融アプリで活用できるデジタル資産の決済基盤およびブロックチェーン基盤を提供。

着目ポイント

- 同社はグローバルで2番目に時価総額の大きい米ドルに連動するステーブルコインである USD Coin (USDC) の発行者として知られる、規制に準拠したデジタル資産インフラ企業。
- USDCの流通量は2025年を通じて大きく増加し、規制されたステーブルコイン発行者としての地位をさらに強固なものにしている
- ステーブルコイン発行にとどまらず、決済やトークン化にも事業領域を拡大しており、Circle Payments Network*3の提供やトークン化マネー・マーケット・ファンド (USYC) の運用などを進めている。

*3 次世代国際送金ネットワークです。USDCなどを活用し、銀行間での24時間365日の即時決済を実現し、従来のSWIFT（送金）システムに代わる、迅速で安価な資金移動インフラを目指しています。

国・地域 | 米国

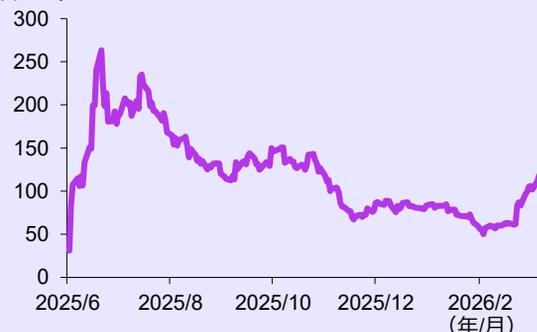
業種 | 情報技術

時価総額 | 約3兆円

株価推移

期間：2025年6月4日（新規株式公開日）～

(米ドル) 2026年2月末（日次）



出所：ブルームバーグ、インベスコ 産業分類は、コインシェアーズ社が独自に分類したブロックチェーンの8つの産業分類に基づいています。国・地域は、発行体の国籍（所在国）などで区分しています。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。上記は、2026年2月末現在におけるコインシェアーズ社の情報をもとにインベスコが作成したものであり、将来予告なく変更されることがあります。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）

3 インデックスの主な新規組入銘柄（組入開始時期：2026年1月末）

メルカリ 産業分類：ブロックチェーン決済システム

企業概要

- 日本発の「フリマ」アプリ運営企業。個人間で手軽に売買できるEコマース・プラットフォームを展開している。
- 「フリマ」アプリだけでなく、スマホ決済、暗号資産、海外マーケットプレイス事業（「メルカリ」などに出品された商品を海外利用者が専用サイトやアプリを通じて購入・発送できるサービス）なども展開。

着目ポイント

- 子会社のメルコインを通じてビットコインやイーサリアムなどの暗号資産の取引サービスを提供。また、メルカリアプリではビットコイン決済も利用可能。
- 2026年には、メルコインが仲介役となり、マネックス・グループ傘下のコインチェックと連携してコインチェックが提供するより幅広い暗号資産ラインナップへのアクセスをユーザーに提供する計画。

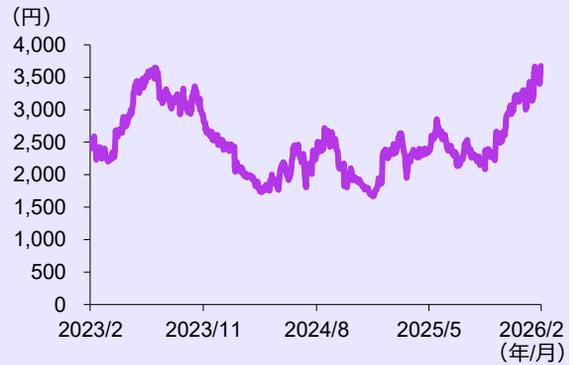
国・地域 | 日本

業種 | 一般消費財・サービス

時価総額 | 約6,063億円

株価推移

期間：2023年2月末～2026年2月末（日次）



世カエルが連動を目指すインデックスの銘柄選定を行うコインシェアーズ社のご紹介

- 欧州最大のデジタル資産運用会社です。
- ブロックチェーン技術／デジタル資産技術の専門知識を有するリサーチ・チームを有しています。
- 世カエルが連動するインデックスに関して、このリソースを活用しボトムアップ・アプローチで銘柄を選定しています。
- 企業分析においては収益性、基礎となる技術や競争力、事業の持続可能性などに着目し、短期的な市場サイクルに惑わされることなく企業実態を見極め、市場で過小評価されているブロックチェーン関連企業を発掘しています。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド
 インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド (予想分配金提示型)



組入上位10銘柄 (2026年2月末現在)

銘柄	国・地域	業種	純資産比率	銘柄概要
1 SBIホールディングス	日本	金融	3.9%	国内外のインターネット関連企業を中心としたベンチャーキャピタル投資、金融サービス事業、アセットマネジメント事業等を展開。暗号資産関連事業では暗号資産取引事業の拡大の他、国内初となる一般投資家向けデジタル社債を発行するなど、積極展開。
2 台湾積体回路製造	台湾	情報技術	3.8%	世界有数の半導体ファウンドリ（生産工場）。暗号資産のマイニング向け集積回路メーカーにとって重要なサプライヤー。韓国、中国、米国などの競合他社と比較し、相対的に高い成長率と利益率を誇る点を評価。
3 サイファー・デジタル*	米国	情報技術	3.8%	米国が事業基盤のビットコインのマイニング企業。低いマイニングコストと、企業規模が小さく効率的に経営されている点を評価。
4 サムスン電子	韓国	情報技術	3.6%	主要な暗号資産マイニング企業にASICチップを供給しており、半導体事業が同社の収益性向上にも寄与。マイニング・ハードウェアのマーケットリーダーになる可能性も考慮。
5 クリーンスパーク	米国	情報技術	3.3%	再生可能エネルギーによるビットコインのマイニング企業。自社でのマイニングのほか、データセンターサービスや仮想ストレージ、データバックアップサービスなど、暗号資産関連のクラウドサービスが強み。
6 ライオット・プラットフォームズ	米国	情報技術	3.2%	ビットコインのマイニング企業。暗号通貨およびブロックチェーン事業の買収にも積極的であり、ブロックチェーン技術企業の支援も行っている点を評価。
7 メルカリ	日本	一般消費財・サービス	3.0%	日本を代表するC2C「フリマ」アプリを中心に構築された、日本発のeコマース・フィンテックプラットフォーム。「フリマ」アプリだけでなく、決済、暗号資産、海外マーケットプレイス事業なども展開。
8 サークル・インターネット・グループ°	米国	情報技術	2.9%	企業がデジタル通貨やパブリックブロックチェーンを決済、商取引、金融アプリケーションに活用できるデジタル資産プラットフォームおよびネットワークユーティリティシステムを提供。
9 ヌー・ホールディングス	ブラジル	金融	2.8%	ラテンアメリカ最大級のデジタル金融サービス企業。ビットコイン、イーサリアム、USDCなど20種類以上が取引可能な「Nubank Crypto」を提供するヌー・バンクを傘下に持つ。
10 ブロック	米国	金融	2.8%	モバイル決済ソリューションを提供する米国の企業。暗号資産の取引・送金アプリ「Cash App」を活用したビットコイン決済サービスを提供。欧州へも事業を拡大し、ビットコイン決済に関する売上は順調に拡大している。当事業の更なる成長に期待。

* サイファー・デジタルは、2026年2月にサイファー・マイニングから社名が変更されました。

出所：インベスコ 当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行っており、マザーファンドのポートフォリオの状況を記載しています。業種は、GICS（世界産業分類基準）に準じています。国・地域名は発行体の国籍（所在国）などで区分しています。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）の設定来基準価額推移

2021年3月11日～2026年2月27日（日次）



直近12カ月の分配金実績

(1万口当たり、課税前)

	2025年 6月	2025年 7月	2025年 8月	2025年 9月	2025年 10月	2025年 11月	2025年 12月	2026年 1月	2026年 2月	設定来合計
分配金額	200円	300円	300円	300円	500円	500円	400円	400円	200円	4,200円

※2025年3～5月は分配金のお支払いがありませんでした。

出所：インベスコ

基準価額は信託報酬控除後基準価額です。分配金は投資信託説明書（交付目論見書）記載の「分配方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断等により分配を行わない場合もあります。分配方針は後述の「予想分配金提示型の分配方針」をご覧ください。予想分配金提示型の分配実績は、2025年3月以降で分配金が支払われた決算日のものを掲載しています。当ファンドはインベスコが運用を行います。インベスコは、インベスコ・リミテッド並びにインベスコ・リミテッド子会社からなる企業グループで、グローバルな運用力を提供している独立系資産運用会社です。上記は過去のデータであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）

ファンドの特色

1. 主として、マザーファンド※1 受益証券への投資を通じて、日本を含む世界各国のブロックチェーン関連株式に投資を行います。効率的な運用を目的として、ブロックチェーン関連株式を投資対象とする上場投資信託証券にも投資することがあります。
2. コインシェアーズ・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）※2 の動きに連動する投資成果※3を目指します。
3. 実質外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行いません。
4. インベスコ・キャピタル・マネジメント・エルエルシー（米国、ダウナーズグループ）に、マザーファンドの運用指図に関する権限を委託します。

◆分配方針

■各ファンドの決算日（同日が休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

- ・インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンドの決算日：毎年7月10日
分配金額は、委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
- ・インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）の決算日：毎月10日
分配金額は、委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。

■ただし、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。

※予想分配金提示型の分配方針の詳細については下部の「予想分配金提示型の分配方針」を参照ください。

※1 ファンドが投資対象とするマザーファンドは、「インベスコ 世界ブロックチェーン株式マザーファンド」です。

※2 ◇ファンドは、コインシェアーズ・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）をベンチマークとします。◇コインシェアーズ・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）とは、基準日前営業日のコインシェアーズ・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス（税引後配当込み、米ドルベース）の数値を、委託会社が基準日当日の米ドル為替レート（対顧客電信売買相場の仲値）で独自に円換算したものです。◇コインシェアーズ・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックスは、コインシェアーズ・インターナショナル・リミテッド（コインシェアーズ社）が独自の分析に基づき選定した銘柄で構成され、ソラクティブ AG（ソラクティブ社）によって算出、公表されています。◇ソラクティブ社は、コインシェアーズ・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス（当指数）、およびその登録商標、当指数データの利用結果に関して、何時、いかなる点においても明示的、黙示的な保証または確約を行いません。ソラクティブ社は当指数を正確に算出するために最善を尽くしますが、指数提供者としての義務にかかわらず、投資家および金融商品の仲介者を含む第三者に対して、当指数の誤りを指摘する義務を負いません。ソラクティブ社による当指数の公表および金融商品に関連した目的での当指数または当指数の商標利用の使用許諾は、ファンドへの投資を推奨するものではなく、また、ファンドへの投資に関してソラクティブ社の保証または意見を表明するものではありません。

※3 ファンドは、ベンチマークと連動する投資成果を目指して運用を行います。基準価額とベンチマークの動きは乖離する場合があります。

予想分配金提示型の分配方針

- ・予想分配金提示型の場合、分配対象額の範囲※1内で、決算日の前営業日の基準価額※2に応じて、以下の金額の分配を目指します。
- ※1 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含む配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。
- ※2 基準価額は1万口当たりとし、支払済の分配金累計額は加算しません。

決算日の前営業日の基準価額 (1万口当たり)	分配金額 (1万口当たり、課税前)
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

- ・基準価額に応じて、分配金額は変動します。
- ・基準価額が上記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を継続する、というものではありません。
- ・分配を行うことにより基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期決算以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。
- ・決算日の前営業日から決算日までの間に基準価額が急激に変動した場合等、基準価額水準や市況動向等によっては委託会社の判断で上記とは異なる分配金額となる場合や分配が行われない場合があります。
- * 上記は、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド (予想分配金提示型)

収益分配金に関する留意事項

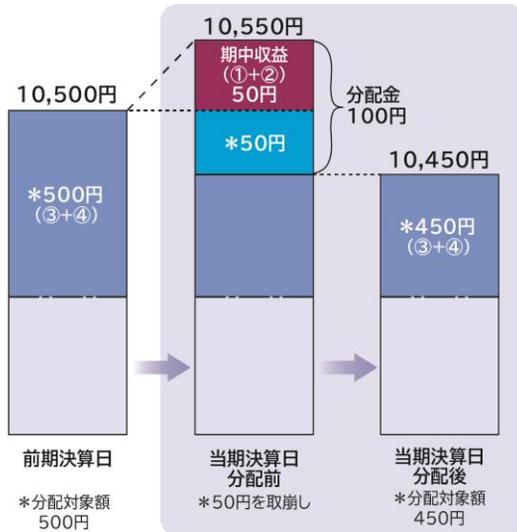
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



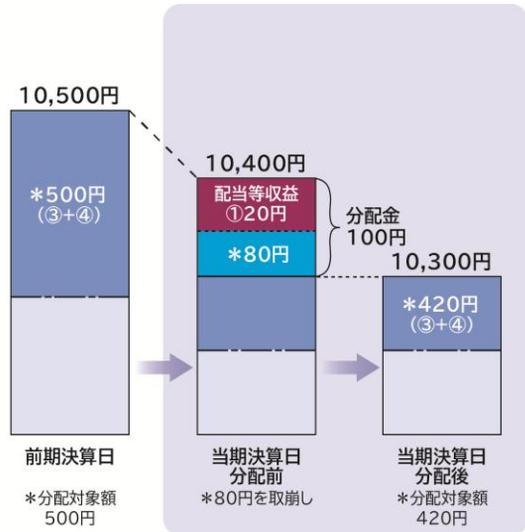
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

■ 前期決算日から基準価額が上昇した場合



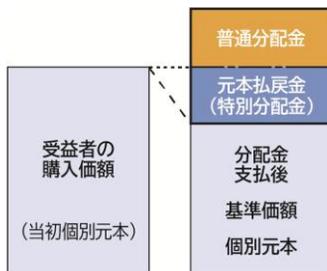
■ 前期決算日から基準価額が下落した場合



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
* 上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

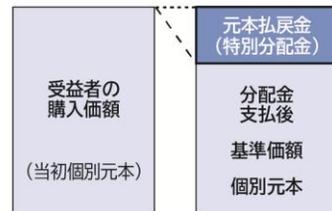
- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

■ 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金（特別分配金）は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金（特別分配金）部分は**非課税扱い**となります。

■ 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本（受益者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照ください。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）

ファンドの投資リスク

ファンドは預貯金とは異なり、投資元本は保証されているものではないため、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて受益者に帰属します。ファンドは実質的に国内外の株式など値動きのある有価証券等に投資しますので、組み入れた株式などの値下がりやそれらの発行者の信用状況の悪化などの影響により基準価額が変動し、損失を被ることがあります。

購入のお申し込みの際は、投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡しますので、必ず内容をご確認いただき、ファンドの内容・リスクを十分ご理解のうえ、ご自身でご判断ください。基準価額の変動要因として、①価格変動リスク、②信用リスク、③カントリー・リスク、④為替変動リスク、⑤流動性リスク、その他の留意点などがあります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額に販売会社が定める 3.30%（税抜3.00%）以内 の率を乗じて得た額
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	日々の投資信託財産の純資産総額に 年率1.573%（税抜1.43%）以内 の率を乗じて得た額とします。運用管理費用（信託報酬）は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。 なおインベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンドでは毎計算期間の最初の6か月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、投資信託財産中から支払われます。インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）では毎計算期末または信託終了のとき、投資信託財産中から支払われます。
その他の費用・手数料	<ul style="list-style-type: none"> ● 組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用などは、実費を投資信託財産中から支払うものとします。これらの費用は運用状況などによって変動するため、事前に具体的な料率、金額、計算方法および支払時期を記載できません。 ● 監査費用、目論見書・運用報告書の印刷費用などは、投資信託財産の純資産総額に対して年率0.11%（税抜0.10%）を上限として、インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンドでは毎計算期間の最初の6か月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、投資信託財産中から支払われます。インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）では毎計算期末または信託終了のとき、投資信託財産中から支払われます。

* お客さまにご負担いただく費用の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

- 当ファンドの照会先 インベスコ・アセット・マネジメント株式会社（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）
電話番号：03-6447-3100 ホームページ：<https://www.invesco.com/jp/ja/>

インベスコ・アセット・マネジメント

商号等：インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第306号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）

お申し込みメモ

購入単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。 * 分配金の受け取り方法により、「分配金再投資コース」と「分配金受取りコース」の2コースがあります。
購入価額	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金の申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所のいずれかの休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する日には、購入・換金のお申し込みの受け付けを行いません。
換金制限	投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込には一定の制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取り消し	取引所などにおける取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申し込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた購入・換金のお申し込みの受け付けを取り消すことがあります。
信託期間	<ul style="list-style-type: none"> ■ インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド 無期限（設定日：2019年7月11日） ■ インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型） 2021年3月11日から2029年7月10日まで（設定日：2021年3月11日）
繰上償還	信託契約の一部解約により、受益権の総口数が30億口を下回ることとなった場合などは、信託期間の途中で償還することがあります。
決算日	<ul style="list-style-type: none"> ■ インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド 毎年7月10日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日） ■ インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型） 毎月10日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日）
収益分配	<ul style="list-style-type: none"> ■ インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド 年1回の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ■ インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型） 毎月の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 <p>※委託会社の判断により分配を行わないことがあります。収益分配の詳細は「ファンドの特色」と「予想分配金提示型の分配方針」の項目をご参照ください。</p> <p>※「分配金再投資コース」でお申し込みの場合は、分配金は税引後無手数料で再投資されます。</p>
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象となります。「インベスコ世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）」は、NISAの対象ではありません。「インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド」は、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取り扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。配当控除は適用されません。
スイッチング	「インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド」と「インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）」との間でスイッチングが可能です。販売会社によっては、どちらか一方のファンドのみの取り扱いとなる場合やファンド間でスイッチングが行えない場合があります。また、換金するファンドに対して税金がかかります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

※各ファンドについて個別に記載がない箇所については両ファンドの共通記載事項です。

※販売会社によっては、どちらか一方のファンドのみの取り扱いとなる場合があります。

インベスコ世界ブロックチェーン株式ファンド

インベスコ世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）

販売会社（投資信託説明書（目論見書）のご請求・お申し込み先）

- 受益権の募集・販売の取り扱い、投資信託説明書（目論見書）の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資※に関する事務などを行います。※ 分配金を受け取るコースのみを取り扱う販売会社は当該業務を行いません。
- 下記には募集・販売の取り扱いを行っていない販売会社が含まれていることがあります。また、下記以外の販売会社が募集・販売の取り扱いを行っている場合があります。

2026年3月17日現在

金融商品取引業者等の名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	※1 世界ブロックチェーン株式ファンド 取り扱い販売会社	※2 予想分配金提示型 コース 取り扱い販売会社
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3283号	○	○		○		
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	○	○	
株式会社イオン銀行 （委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○				○	
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第15号	○	○	○	○	○	
S M B C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○	○	○	○	
株式会社SBI新生銀行 （委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券、 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○		○	
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第191号	○			○		
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第65号	○			○	○	
篠山証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第16号	○			○	○	
Jトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第35号	○	○		○	○	
株式会社十六銀行※3	登録金融機関	東海財務局長（登金）第7号	○		○	○		
株式会社常陽銀行 （委託金融商品取引業者 めぶき証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第45号	○		○		○	
スルガ銀行株式会社	登録金融機関	東海財務局長（登金）第8号	○			○		
大熊本証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長（金商）第1号	○			○	○	
立花証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第110号	○		○	○		
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第6号	○			○	○	
株式会社中国銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第2号	○		○	○	○	
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第32号	○			○	○	
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第24号	○			○	○	
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第131号	○		○	○	○	
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第50号	○			○	○	
株式会社広島銀行※4	登録金融機関	中国財務局長（登金）第5号	○		○	○		
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○		○	○	○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○	○	○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○	○	
三菱UFJスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○	○	
株式会社三菱UFJ銀行※4	登録金融機関	関東財務局長（登金）第5号	○		○	○	○	
moomoo証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3335号	○	○		○	○	
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第1771号	○			○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○	○	

※1 世界ブロックチェーン株式ファンドはインベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンドのことを表しています。

※2 予想分配金提示型コースはインベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）のことを表しています。

※3 新規の募集・販売の取り扱いを停止しています。 ※4 インターネットでのお取り扱いのみとなります。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）

「当資料のお取り扱いにおけるご注意」

当資料はインベスコ・アセット・マネジメント株式会社が作成した販売用資料です。当資料は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。また、過去の運用実績は、将来の運用成果を保証するものではありません。当資料で詳述した分析は、一定の仮定に基づくものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。分析の際の仮定は変更されることもあり、それに伴い当初の分析の結果と差異が生じる場合があります。当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見などは特に記載がない限り当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。ファンドの購入のお申込みの場合には、投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社よりあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関は投資者保護基金には加入していません。ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。ファンドは、実質的に国内外の値動きのある有価証券など（外貨建資産には、為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。